



TOYOTA BOSHOKU

東証1部 証券コード 3116

2018年度（2019年3月期）

第1四半期 決算説明会

開催日：2018年7月31日

1. 2018年度第1四半期 決算状況

2. 2018年度 上期予想

3. 2018年度 通期予想

■ 第1四半期

1. 主力製品のシート生産台数は減少したものの、
新製品切替における商品力向上などにより増収

2. 商品力向上による増収効果はあるものの、
新製品開発や生産準備費用の増加などにより減益

■ 上期予想・通期予想

3. 商品力や付加価値向上により稼ぐ力は維持するものの、
「2020年経営計画」に沿って将来の成長に向けた投資を
積極的に行うため、増収減益

1-2) 2018年度第1四半期 決算状況

【連結決算概要】

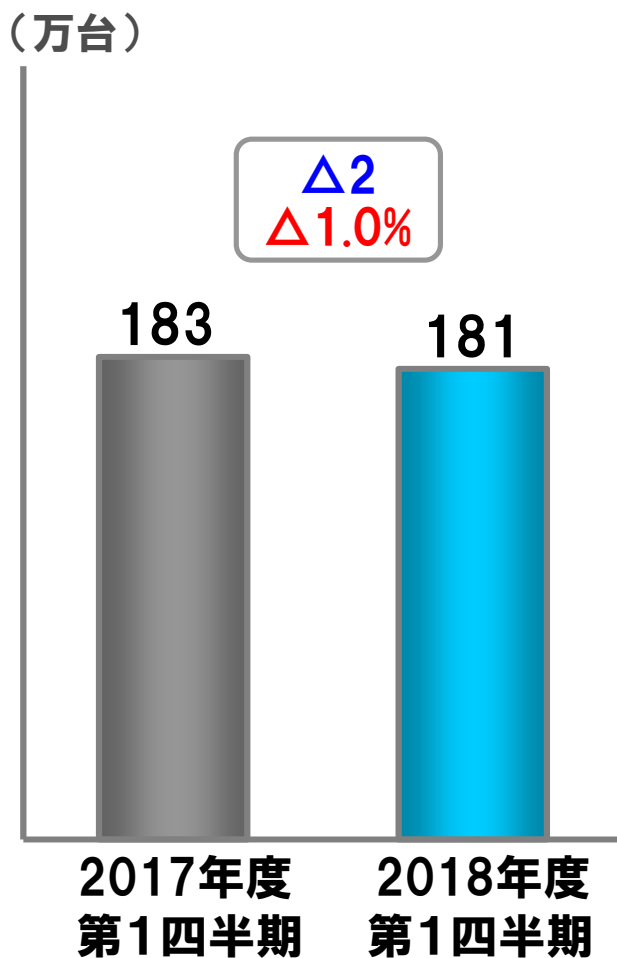
(億円)

	17年度 第1四半期実績		18年度 第1四半期実績		増減	
	金額	比率	金額	比率	金額	比率
売上高	3,324	100%	3,444	100%	119	3.6%
営業利益	162	4.9%	143	4.2%	△19	△11.8%
経常利益	170	5.1%	163	4.8%	△6	△3.9%
当期純利益*	100	3.0%	63	1.9%	△36	△36.5%
1株当たり当期純利益	54円10銭		34円37銭			
為替レート	USドル	111円	109円	2円 円高		
	ユーロ	122円	130円	8円 円安		

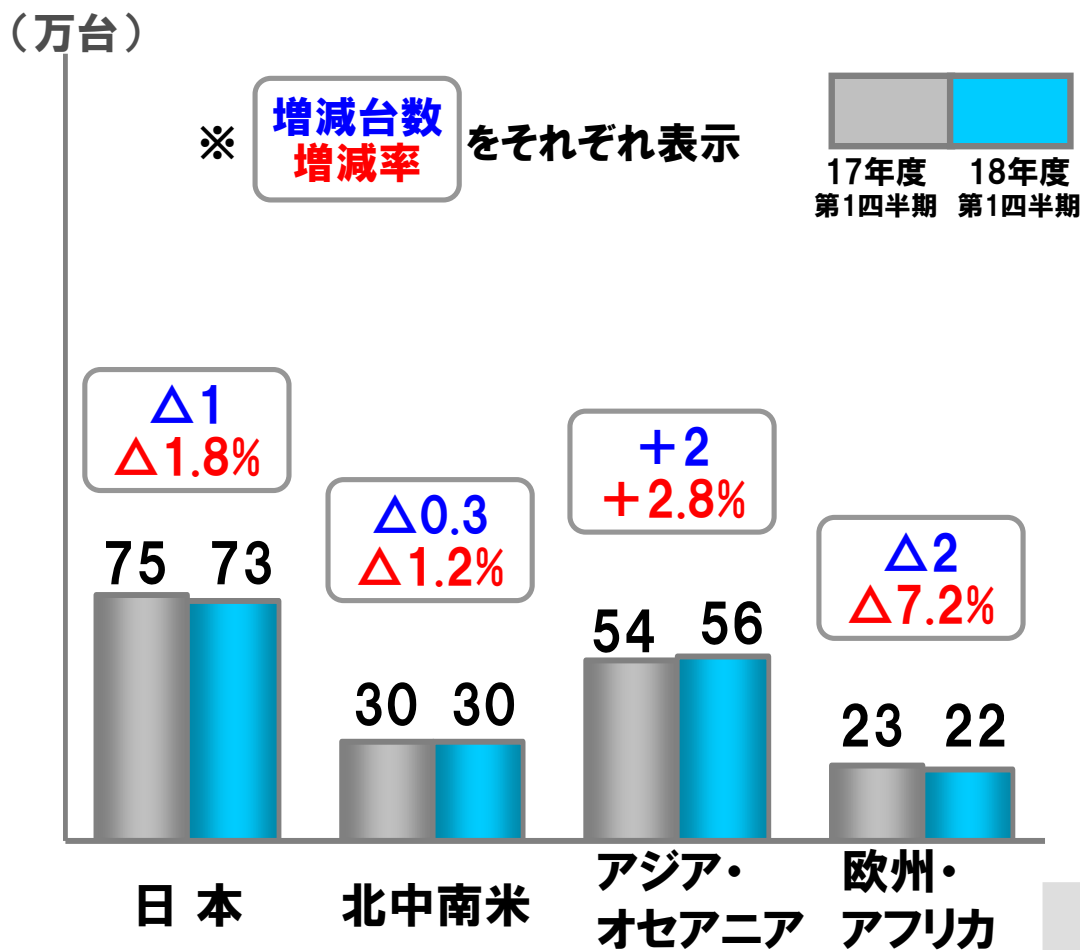
* 親会社株主に帰属する当期純利益

シート生産台数

連結全体



セグメント別

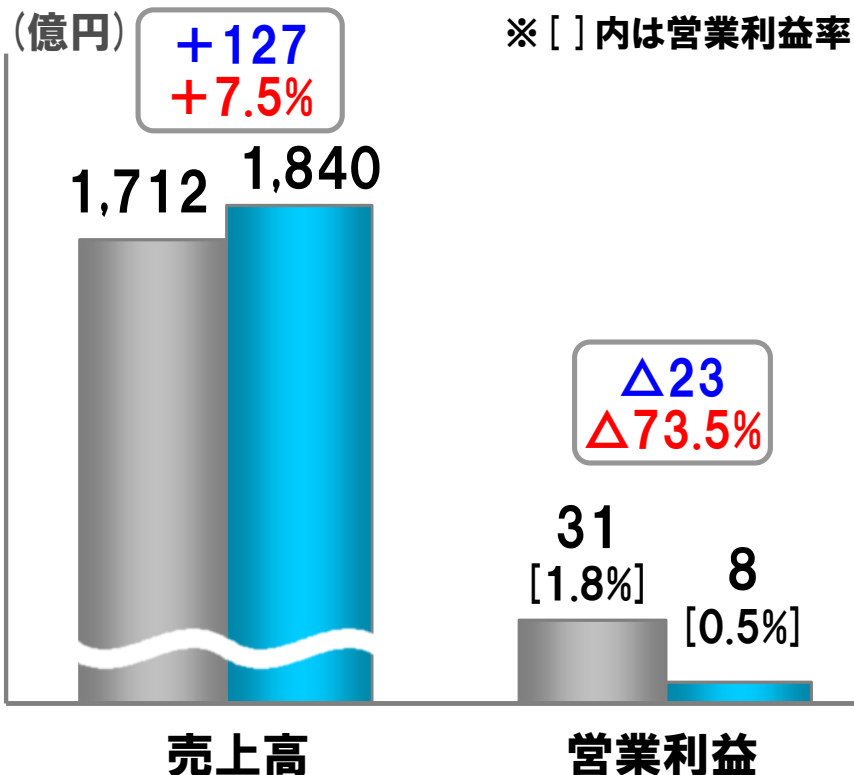


1-4) 2018年度第1四半期 決算状況 地域別売上高・営業利益

日本

減益要因 △23億円

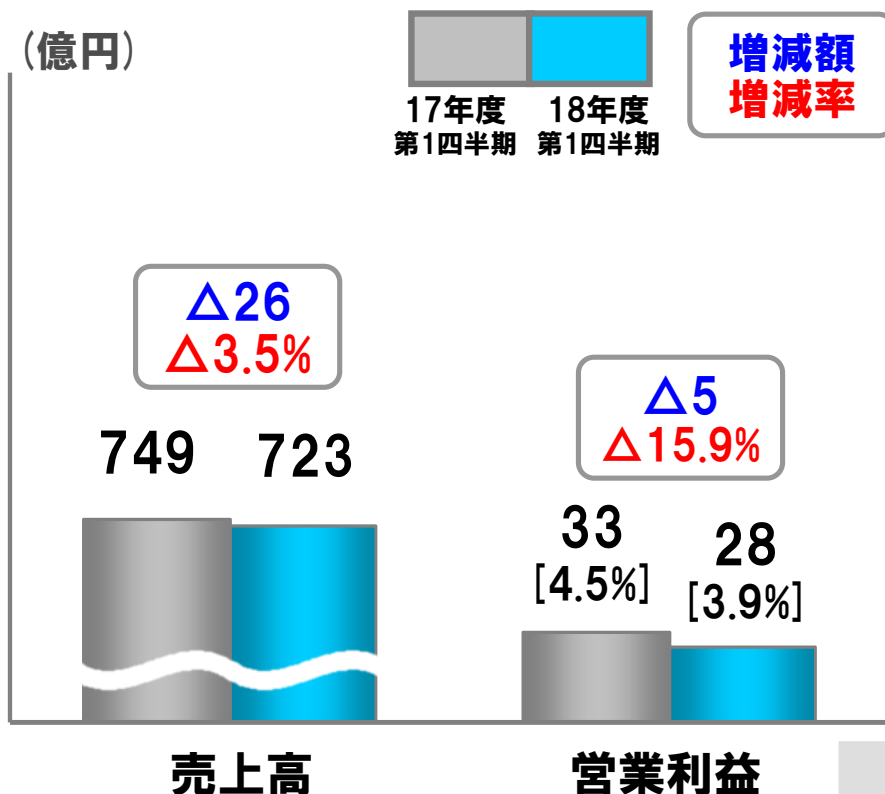
- MPV増産など車種構成変化による増収
- 新製品の生産準備など
諸経費の増加による減益



北中南米

減益要因 △5億円

- 為替の影響による減収
- モデル切替の生産準備費用など
による減益

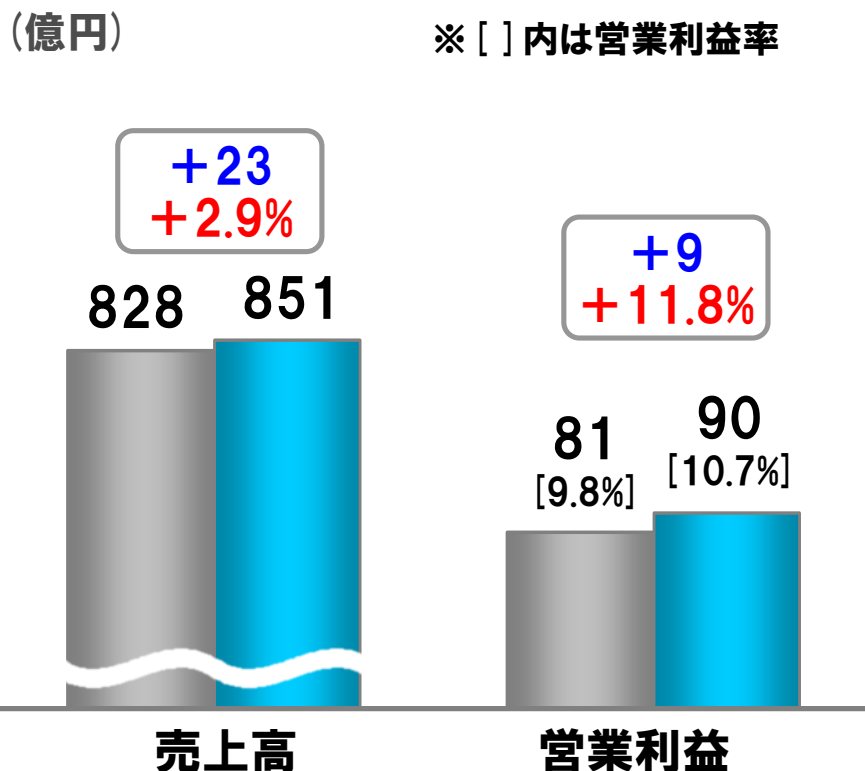


1-4) 2018年度第1四半期 決算状況 地域別売上高・営業利益

アジア・オセアニア

増益要因 +9億円

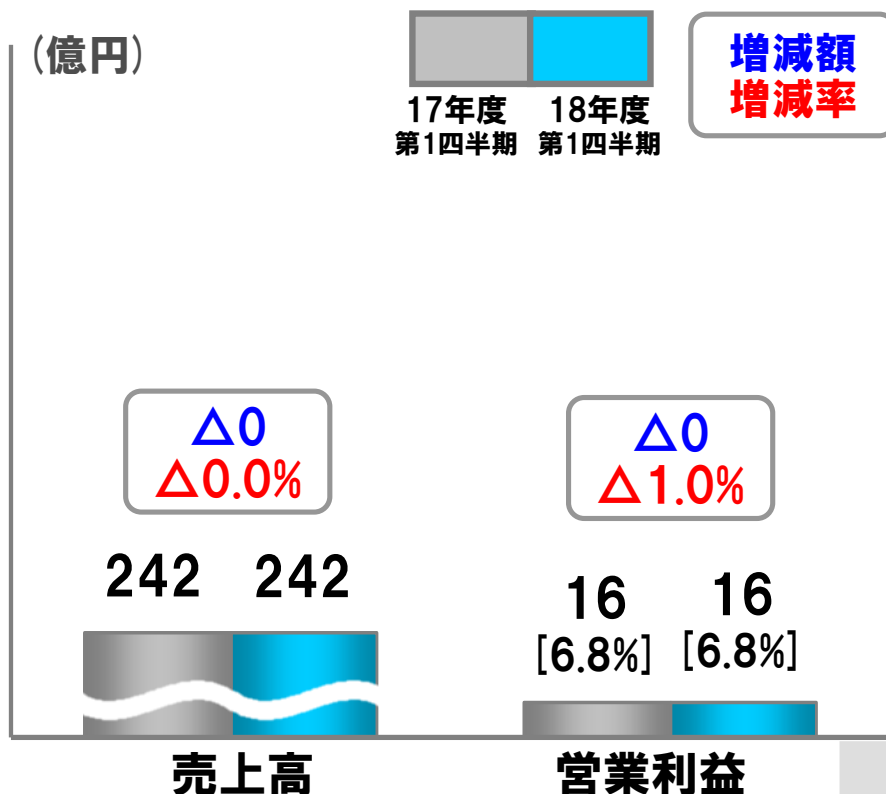
- ・中国での増産、為替の影響による増収
- ・新製品投入効果による増益



欧州・アフリカ

減益要因 $\Delta 0$ 億円

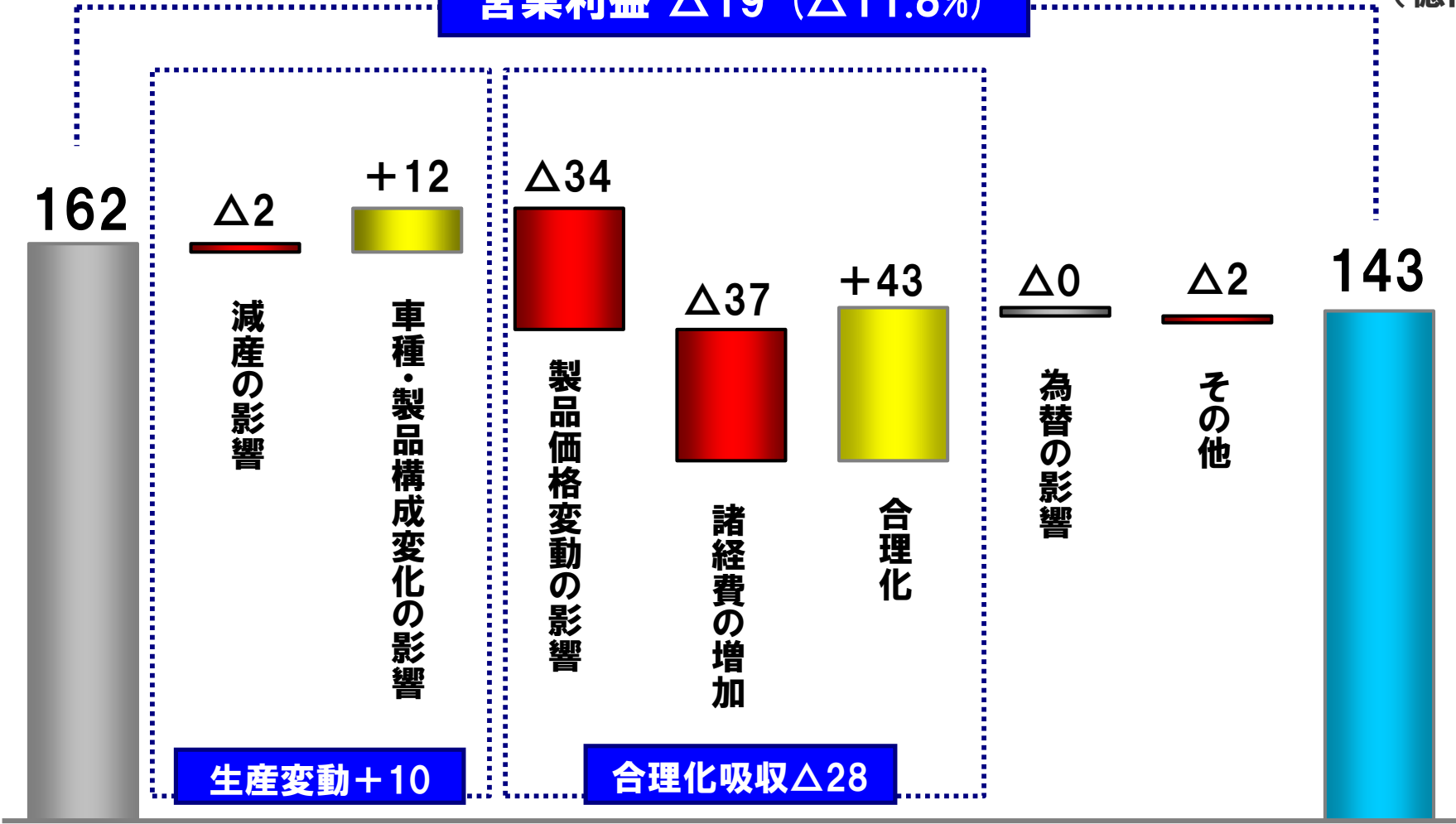
- ・為替の影響
- ・昨年生産終了した車種の影響により
売上高・営業利益は前年並み



1-5) 2018年度第1四半期 決算状況 営業利益増減要因

営業利益 $\Delta 19$ ($\Delta 11.8\%$)

(億円)



2017年度
第1四半期

2018年度
第1四半期

1. 2018年度第1四半期 決算状況

2. 2018年度 上期予想

3. 2018年度 通期予想

2-1) 2018年度 上期予想

【連結決算 上期予想】

(億円)

	18年度 上期予想(当初)		18年度 上期予想(最新)		17年度 上期実績		増減 (18最新-17実績)	
売上高	6,700	100%	6,950	100%	6,723	100%	226	3.4%
営業利益	295	4.4%	295	4.2%	318	4.7%	△23	△7.5%
経常利益	295	4.4%	315	4.5%	331	4.9%	△16	△4.8%
当期純利益*	175	2.6%	150	2.2%	191	2.8%	△41	△21.6%
1株当たり当期純利益	94円23銭		80円77銭		103円03銭			
1株当たり配当金	28円00銭		28円00銭		25円00銭			
為替レート	USDドル	105円	107円	111円	4円	円高		
	ユーロ	130円	128円	126円	2円	円安		

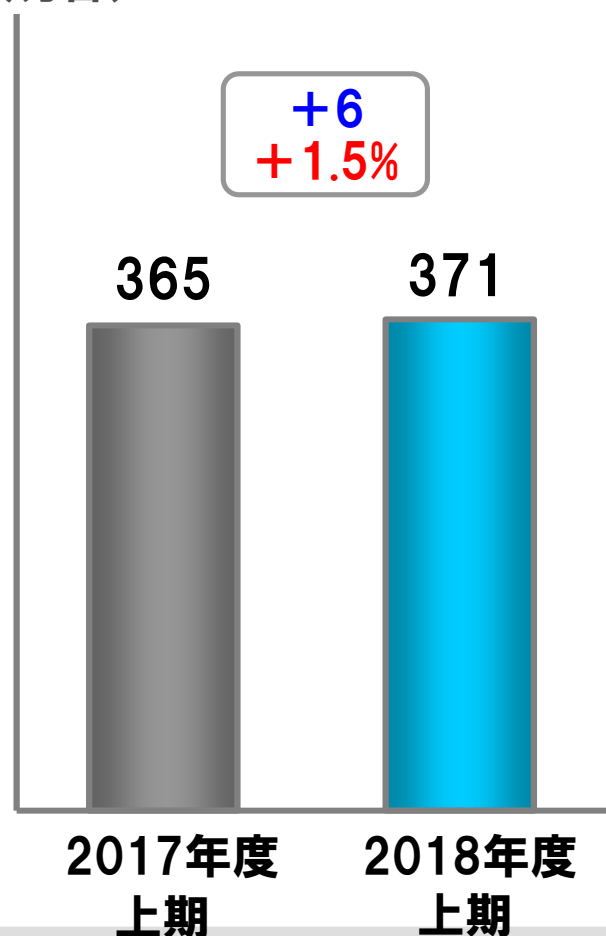
* 親会社株主に帰属する当期純利益

2-2) 2018年度上期予想 地域別生産台数

シート生産台数

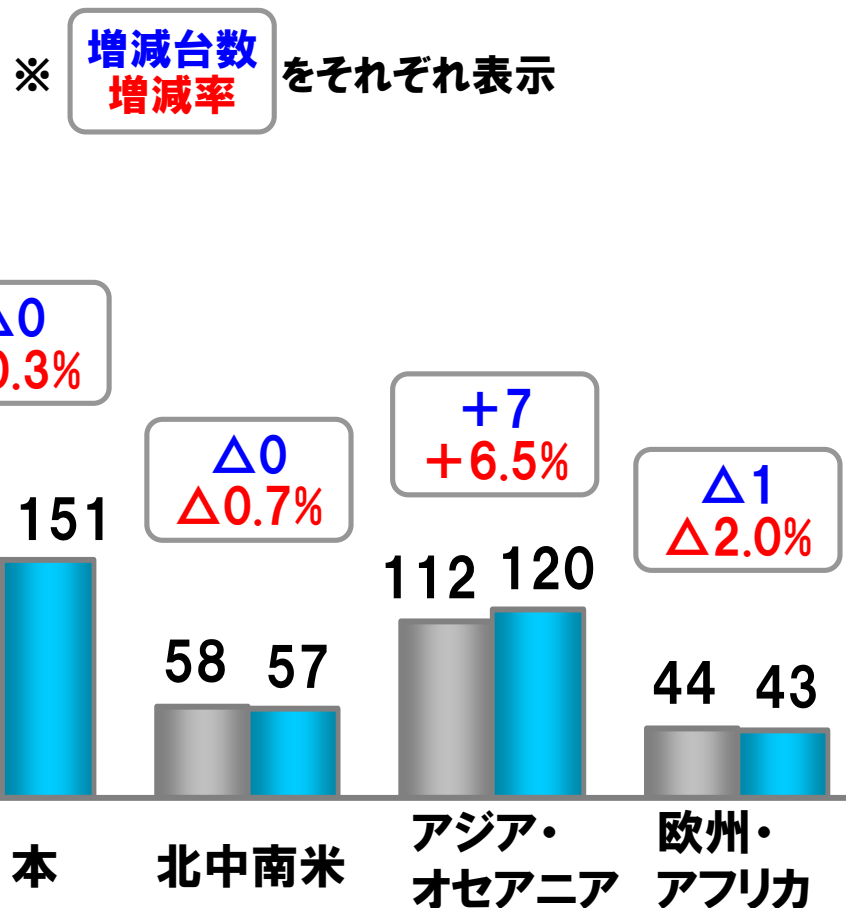
連結全体

(万台)



セグメント別

(万台)

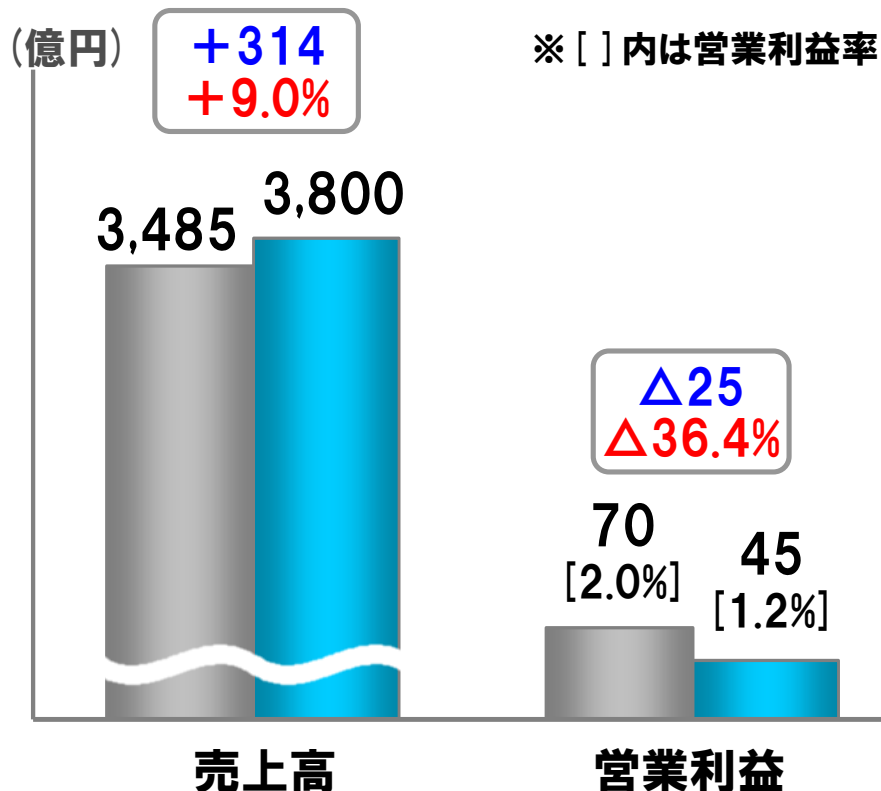


2-3) 2018年度上期予想 地域別売上高・営業利益

日本

減益要因 △25億円

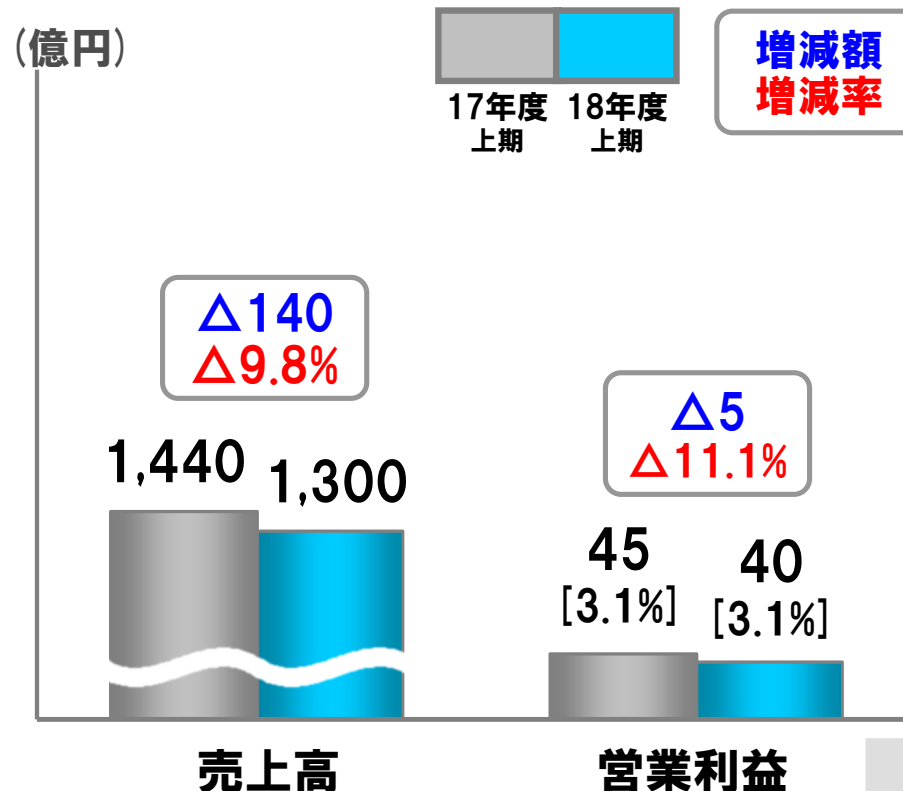
- ・SUV増産など車種構成変化による増収
- ・新製品開発など諸経費の増加による減益



北中南米

減益要因 △5億円

- ・車種構成変化および為替の影響による減収
- ・モデル切替の生産準備費用による減益

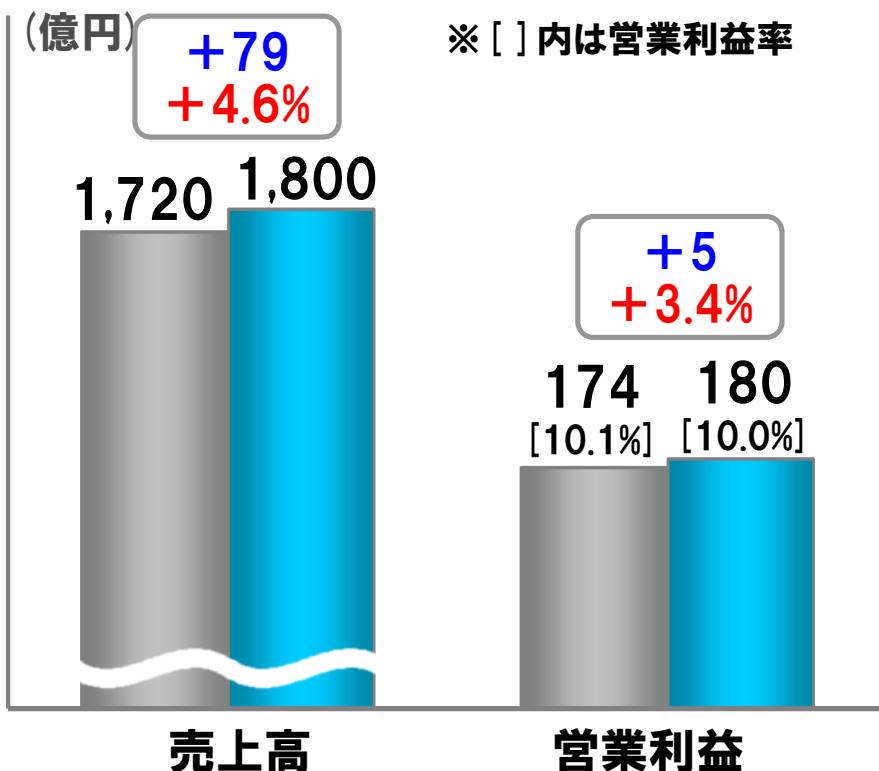


2-3) 2018年度上期予想 地域別売上高・営業利益

アジア・オセアニア

増益要因 +5億円

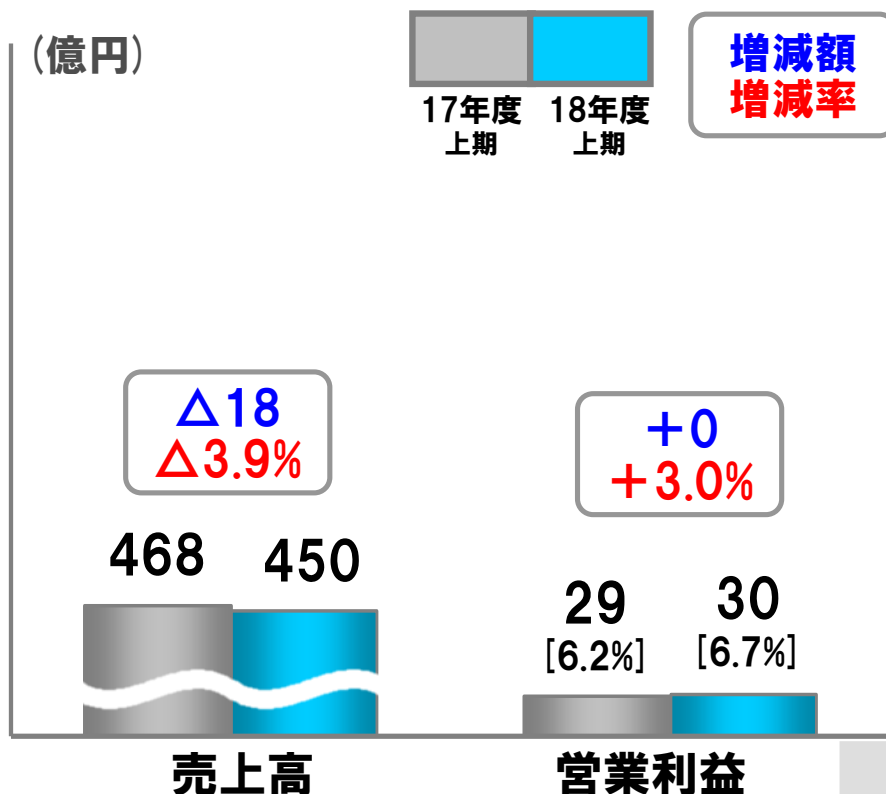
- 中国・タイでの増産による増収
- 新型車投入の効果による増益



欧州・アフリカ

増益要因 +0億円

- 一部車種の生産終了に伴う減産による減収
- 為替の影響により営業利益は前年並み



1. 2017年度第1四半期 決算状況

2. 2017年度 上期予想

3. 2018年度 通期予想

3-1) 2018年度 通期予想

【連結決算 通期業績予想】

(億円)

	18年度 通期予想(当初)		18年度 通期予想(最新)		17年度 通期実績		増減 (18最新-17実績)	
売上高	13,600	100%	14,000	100%	13,995	100%	4	0.0%
営業利益	620	4.6%	620	4.4%	711	5.1%	△91	△12.9%
経常利益	620	4.6%	640	4.6%	728	5.2%	△88	△12.2%
当期純利益*	380	2.8%	350	2.5%	427	3.1%	△77	△18.2%
1株当たり当期純利益	204円62銭		188円47銭		230円27銭			
1株当たり配当金	56円00銭		56円00銭		54円00銭			
為替レート	USDドル	105円	106円	111円	5円 円高			
	ユーロ	130円	126円	130円	4円 円高			

* 親会社株主に帰属する当期純利益

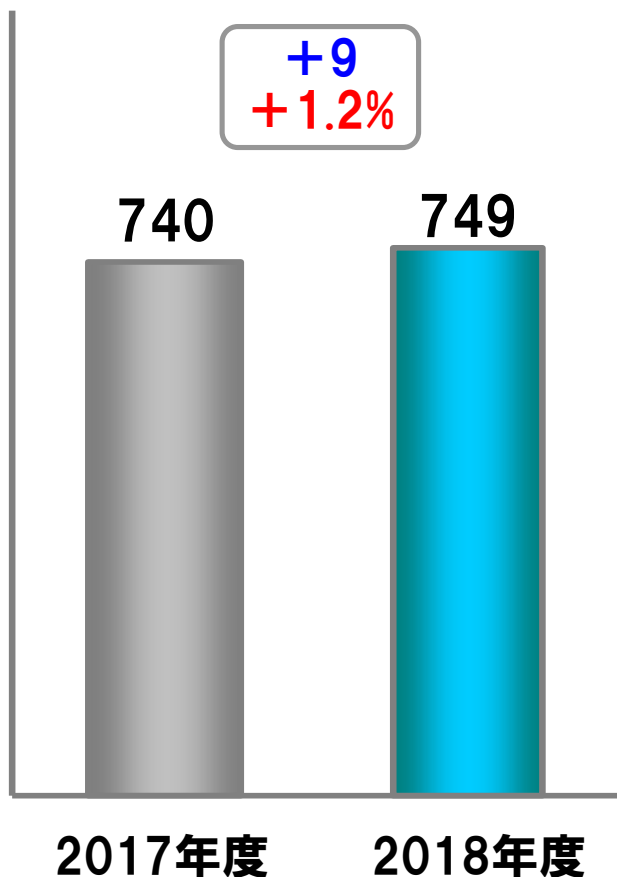
QUALITY OF TIME AND SPACE

3-2) 2018年度通期予想 地域別生産台数

シート生産台数

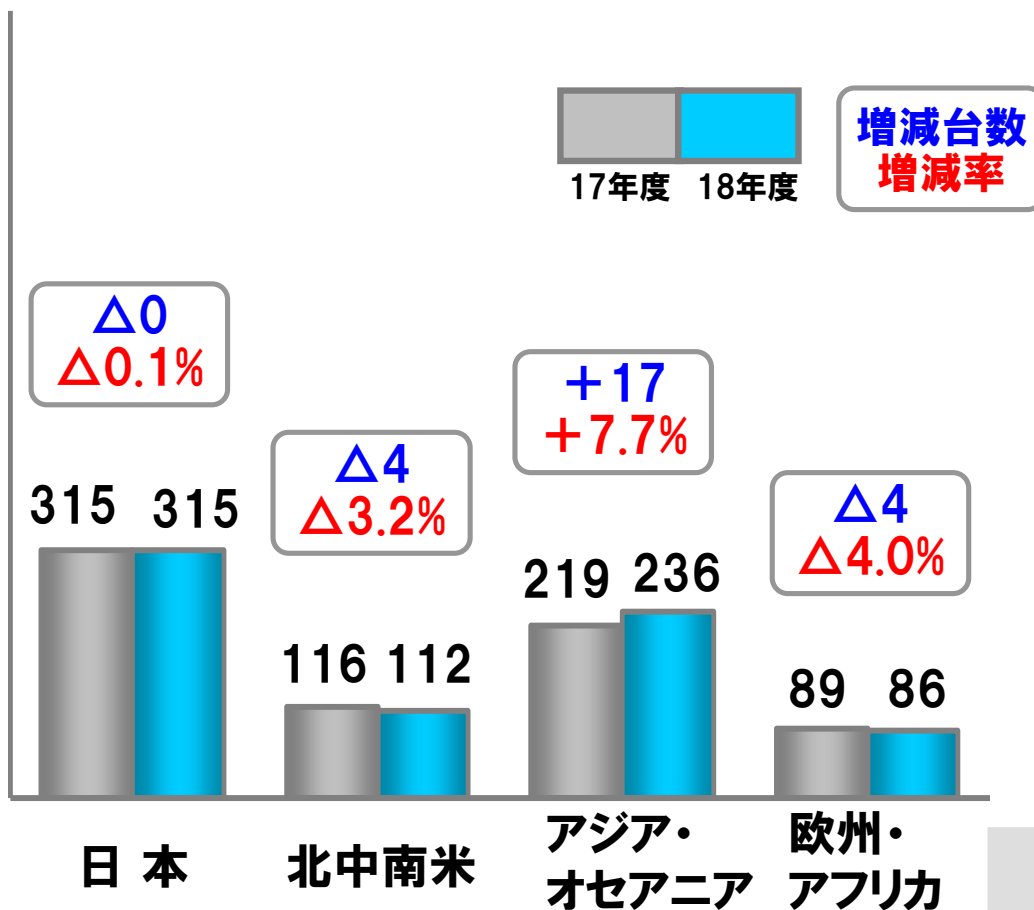
連結全体

(万台)



セグメント別

(万台)

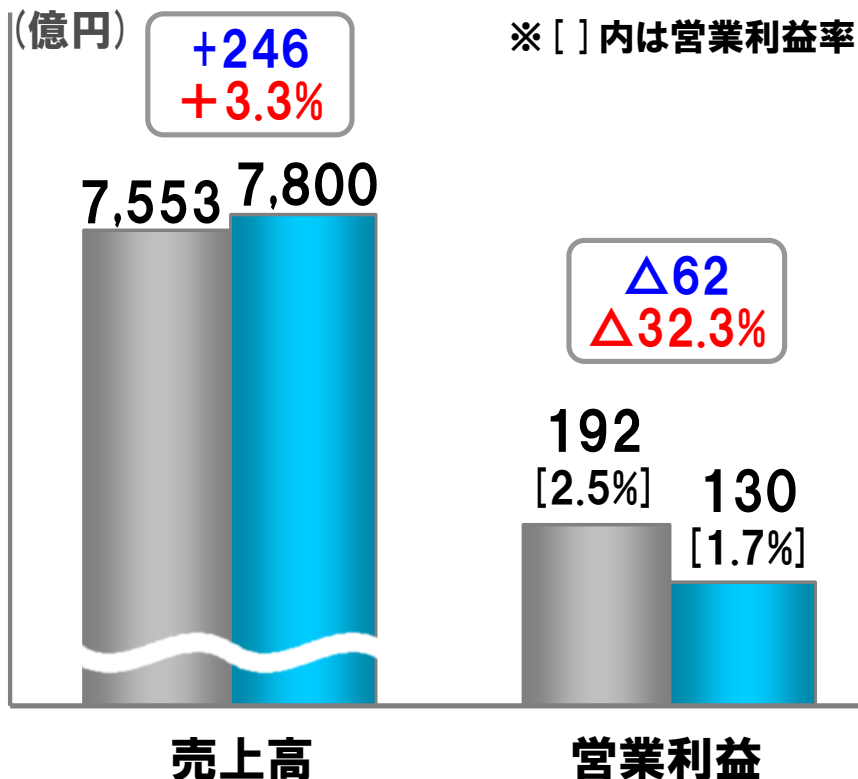


3-3) 2018年度通期予想 地域別売上高・営業利益

日本

減益要因 △62億円

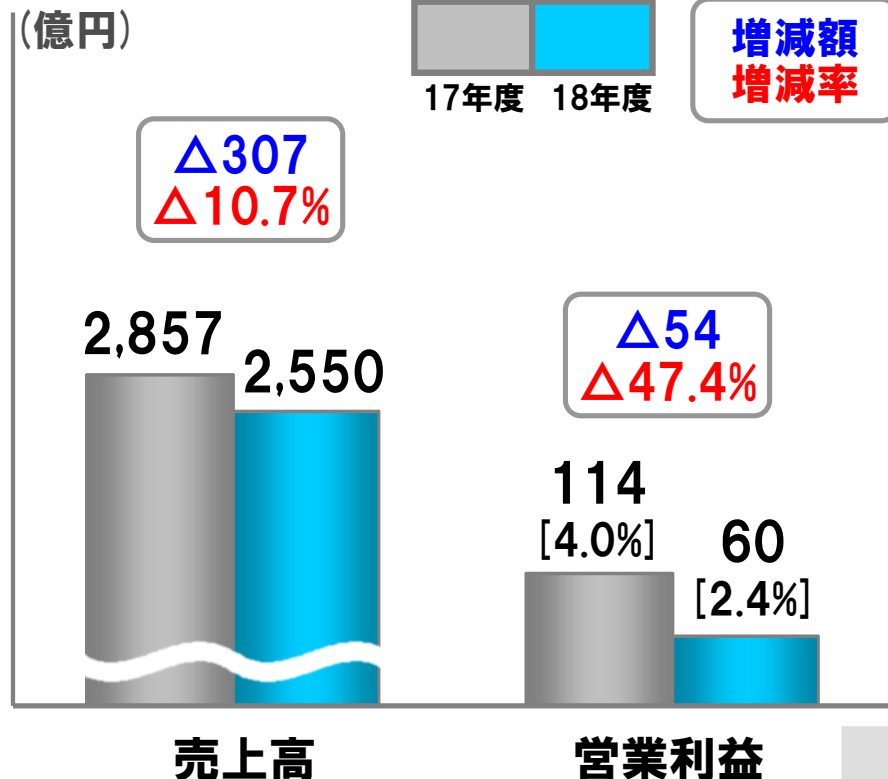
- ・製品車種構成の変化による増収
- ・競争力強化、経営基盤強化に向けた先行投資の実施により減益



北中南米

減益要因 △54億円

- ・為替の影響、モデル切替前の減産による減収
- ・モデル切替の生産準備費用による減益



3-3) 2018年度通期予想 地域別売上高・営業利益

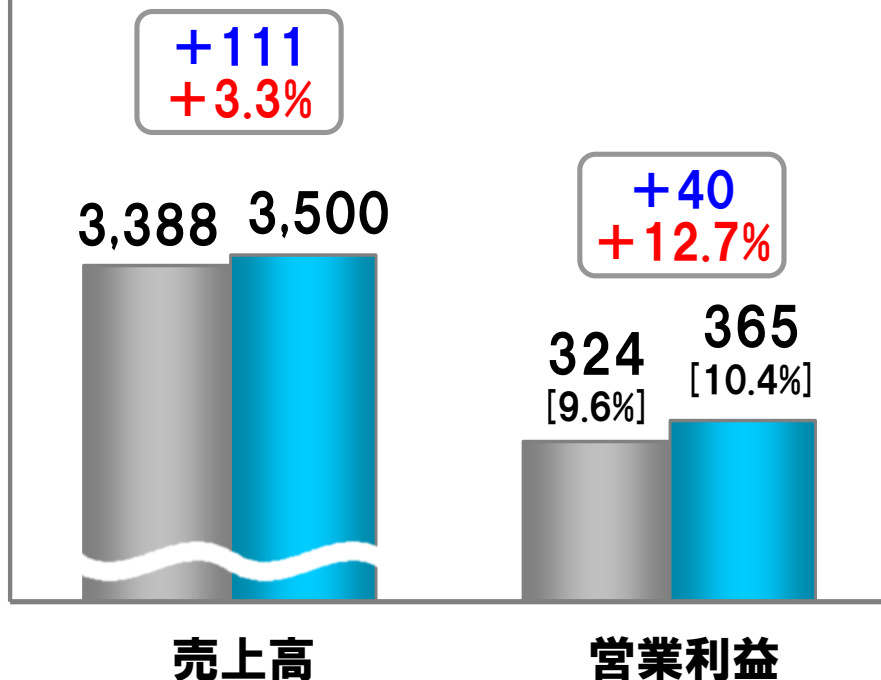
アジア・オセアニア

増益要因 +40億円

- ・中国・タイでの増産による増収
- ・新製品、モデル切替の効果による増益

(億円)

※ [] 内は営業利益率

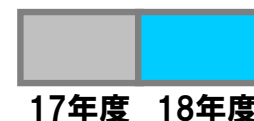


欧州・アフリカ

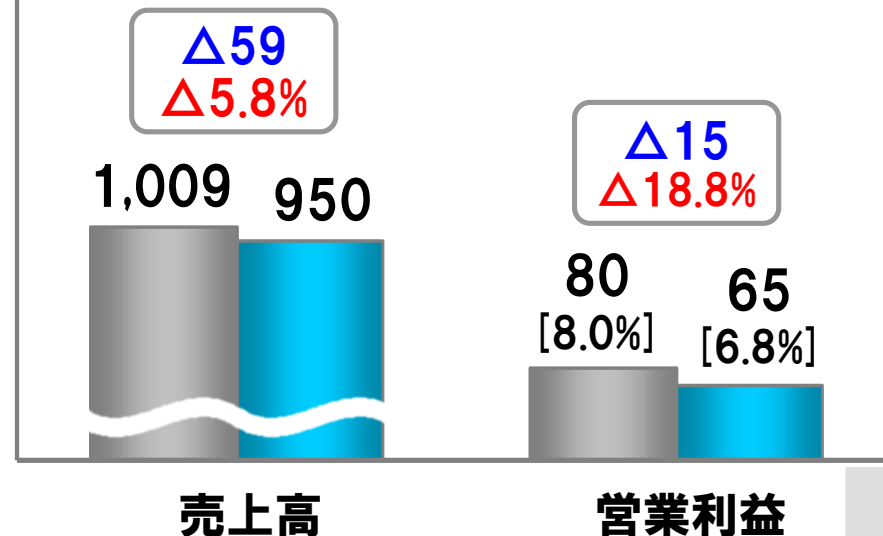
減益要因 △15億円

- ・一部車種の生産終了による減収
- ・新製品の生産準備費用による減益

(億円)



増減額
増減率



3-4) 2018年度通期予想 営業利益増減要因

(億円)

営業利益 $\Delta 91$ ($\Delta 12.9\%$)

711

+45

増産の影響

$\Delta 60$

車種・製品構成変化の影響

+30

新製品の効果

$\Delta 149$

製品価格変動の影響

$\Delta 133$

諸経費の増加

+192

合理化

$\Delta 6$

為替の影響

$\Delta 10$

その他

620

生産変動+15

合理化吸収 $\Delta 90$

2017年度実績

2018年度予想

3-5) 2018年度 通期予想(上・下別)

売上高

(億円)

	18年度予想		
	上期	下期	通期
日本	3,800	4,000	7,800
北中南米	1,300	1,250	2,550
アジア・オセアニア	1,800	1,700	3,500
欧州・アフリカ	450	500	950
連結全体	6,950	7,050	14,000

営業利益

(億円)

	18年度予想					
	上期		下期		通期	
日本	45	1.2%	85	2.1%	130	1.7%
北中南米	40	3.1%	20	1.6%	60	2.4%
アジア・オセアニア	180	10.0%	185	10.9%	365	10.4%
欧州・アフリカ	30	6.7%	35	7.0%	65	6.8%
連結全体	295	4.2%	325	4.6%	620	4.4%



<注意事項>

本資料に記載されている将来に関する業績予想は、現時点で入手可能な情報に基づき当社が判断した予想値であり、不確実性やリスクを含んでおります。

そのため 実際の結果は様々な要因によって業績予想と異なる可能性があります。